

人間文化学部
生活デザイン学科
Department of LIVING DESIGN



デザイン制作現場の生の臨場感にあふれる授業、実習。挑戦しただけ成長できる、刺激に満ちた毎日です。

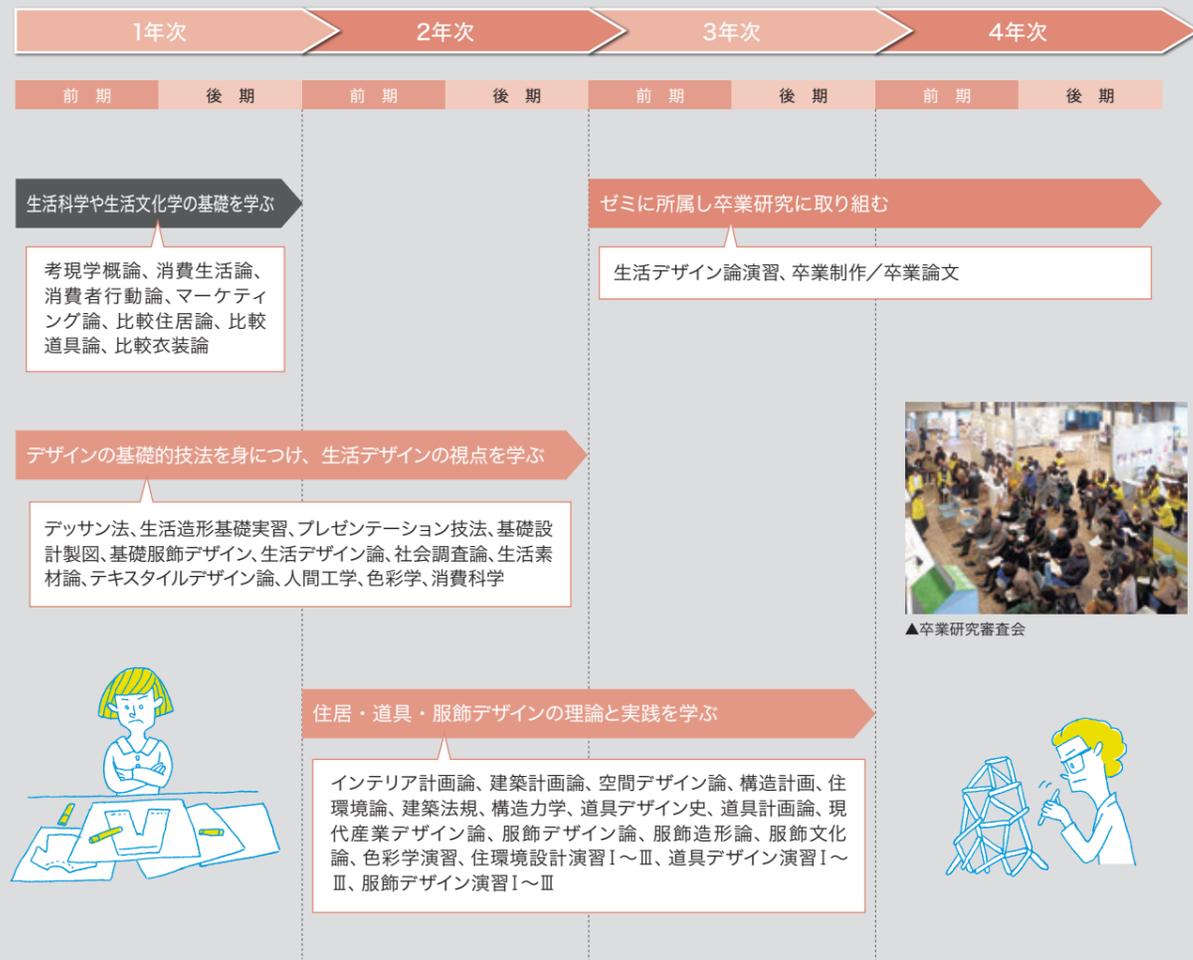
生活デザイン学科では、プロダクトや建築、服飾など、さまざまな視点から幅広くデザインを学ぶことができます。私の場合はプロダクトを重点的に勉強しようとしてこの学科を選びましたが、異なる分野を勉強して得たことも少なくありません。

さらに、実際にデザインの現場で活躍されているデザイナーの方に直接指導してもらう機会や、地域の企業や団体と関わりながら物事をデザインする機会があるので、社会に出てから必要とされるスキルを学生のうちから学ぶことができます。またこの学科は少人数のため、一人ひとりがきめ細やかな指導を受けることができます。先生方との距離が近く、意見交換がしやすいのも魅力のひとつです。

日々学科の仲間と切磋琢磨しながら自分が成長していくのを実感でき、とても楽しいです。

人間文化学部 生活デザイン学科 3回生
上田 陽平 さん / 滋賀県立水口東高等学校出身

◎学びのステップ (4年間の学習フロー)



▲卒業研究審査会

人間に最も身近な生活環境としての
住居・道具・服飾のデザイン理論と実践を学びます。

◎アドミッションポリシー

生活デザイン学科では、人間に身近な生活環境の問題を発見し、その解決策を考え、社会に活躍できる人の育成を目指しています。この教育理念に沿って、人間に身近な生活環境としての住居、道具、服飾のデザインの理論と実践を学び、身近な生活環境を観察・分析して問題を発見し、その解決策を造形的・論理的に表現できる能力を身につけ、地域はもとより広く社会の発展に貢献できる人材の育成を、教育目標に掲げています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

求める学生像

- ① 高度な専門的知識を身につけるための基礎学力を持っている人 (知識・理解)
- ② 柔軟かつ論理的に問題を解決する基礎力を持っている人 (思考力・判断力)
- ③ 身近な生活環境に対する関心と観察力を持っている人 (興味・関心、観察力)
- ④ 表現行為に興味を持ち主体的に創意工夫のできる人 (表現力)
- ⑤ 積極的行動力を身につけるための基礎力をもつ人 (行動力)

◎学びのポイント

変わり行く生活をよく見つめ、そこに望ましい生活環境を形づくってゆく行為が「生活デザイン」です。本学科では、生活の中での人間とモノの関係に注目して、その現状を観察・記録する考現学的調査を推進し、それを基礎に、住居、道具、服飾のデザインを学び、新しい生活の創造をめざします。実際の勉強においては、生活に関わるさまざまなデザイン分野の専任教員から指導を受けながら学びます。さらに学外から招聘する専門家の指導を受ける機会もあります。講義科目に加え、各分野ごとの演習科目によって、自ら問題を発見し、解決策を考え、表現する力を養っていきます。卒業後は、生活デザイン分野の広がりを活かして、住宅・建設関係、印刷・広告関係、服飾関係、製造業、流通・小売業、サービス業、デザイナー、公務員、教員など、多様な進路があります。また資格として、教職、学芸員、二級建築士・木造建築士受験資格、インテリアプランナー受験資格などが取得できるほか、繊維製品品質管理士の資格を得るための道も開かれています。また、色彩能力検定、カラーコーディネーター検定などの受験も推奨しています。



<p>Point 1 幅広く学べます</p> <p>「地域」と「生活」の文化を研究する人間文化学部の中で、デザインを幅広く学べます。幅広い分野構成から自分の最も興味のある分野を見つけだし、専門的に学んでいくことができます。</p>	<p>Point 2 少人数で学べます</p> <p>個別的・個人的に指導を受けやすい少人数の学科です。各分野ごとの実技科目は、学年が進むと10数名のクラスになり、これをときには複数の教員で指導します。3年生後期から卒業までは教員ひとりにつき最大6名程度のゼミナールに配属されます。</p>	<p>Point 3 フィールドワーク重視</p> <p>学外の生活・生産のフィールド(現場)とのかかわりを重視し、さまざまな機会において、実地調査、学外見学、調査旅行などをおこない、企業や自治体のデザイン関連プロジェクトに積極的に参加します。</p>
--	--	---



人間文化学部
生活デザイン学科
森下 あおい 教授

生活デザイン学科 ってこんなところ



生活デザイン学科では、1年次は住居、道具、服飾3分野の基礎的なデザインについての授業を必修としており、その知識を活かして自分の興味のある分野の専門性を高めていきます。このように各分野のデザインについて幅広い視野を持つことができることが本学科の特徴です。

卒業研究
卒業研究の論文・制作を、公開で展示審査会を行っています。



〈専門科目の例〉 講義

考現学概論

考古学者が発掘した遺構・遺物から過去の生活相を復元し想定するように、現在の生活を観測、観察、記録して、その生活相の変化を明らかにし、新しい生活をデザインするための立脚点とします。

道具計画論

現代日本の生活実態の諸相の観察・分析から、今後どのような生活道具が必要とされるのか、どのようなデザインがなされるべきかを考えます。

住環境設計演習

住空間を中心に、その周辺空間も含めて調査・考察し、基礎的なインテリア空間から、公共・地域性をもつ建築・都市空間まで、様々な設計・表現手法を習得し、各自設計制作を行います。

服飾デザイン論

服飾に表される流行の特性、構成理論、体形との関係、素材や色彩の効果を学び、服飾デザインの役割を論じます。そして服飾デザインにおける機能性や審美性について考えます。

生活造形基礎演習

デザインの基礎となる思考法・表現法と構成力等を演習を通じて学ぶことを目的としています。多くの素材をあらゆる視点で観察し、造形の発想とともに意識の拡大をテーマに取り上げながら立体造形に関する基本的な技法を習得します。

デジタルデザイン演習

CADや画像処理、ドローイング、編集ソフトなどを用いて、DTPや3次元モデリングデザインやプレゼンテーションの基礎から応用までを学びます。

◎ようこそ研究室へ

道具デザイン領域

OMOYA SHINSUKE

面矢 慎介 教授
道具学・デザイン史
考現学・生活学



INNAMI HIROSHI

印南 比呂志 教授
地域デザイン・製品計画
地場産業論



MINAMI MASAHIRO

南 政宏 助教
プロダクトデザイン・パッケージデザイン
ブランディングデザイン



服飾デザイン領域

MORISHITA AOI

森下 あおい 教授
服飾デザイン・被服構成学
被服人間工学



YOKOTA NAOMI

横田 尚美 准教授
服飾文化史・西洋服装史
ファッション文化論



住居デザイン領域

MIYAMOTO MASAKO

宮本 雅子 教授
照明計画・色彩計画
住居学



FUJIKI YOSUKE

藤木 庸介 准教授
建築計画・都市計画
文化遺産観光



SASAKI KUNIHIRO

佐々木 一泰 講師
建築デザイン
インテリアデザイン



マーケティング領域

YAMADA AYUMI

山田 歩 助教
マーケティング・マーケティングリサーチ
消費者行動



2016~2017年に学生が受賞したデザインコンペなど

- 「第5回 OAC 学生アイデアで社会をよりよくするコンテスト」
グランプリ受賞
- 「第10回 Student Innovation College」
優秀賞受賞
- 「BranCo! KANSAI 2017」
ブロンズ賞受賞
- 「第31回 全日本DM大賞」
金賞グランプリ受賞
- 「第4回織リサイクルアイデアコンペティション」
最優秀賞、カテゴリー特別受賞
- 「デザイン女子No.1決定戦2017NAGOYA」
特別賞受賞
- 「エコアイデアコンテスト・チエコ2016」
リエコ賞受賞
- 「かこしまデザインアワード2016」
奨励賞受賞
- 「信州アイデアコンペ2016」
学生賞受賞
- 「滋賀Web大賞2016」
優秀賞受賞

1日のスケジュール

- 8:30 通学
- 9:00 1限: デジタルデザイン演習
- 10:40 2限: 生活デザイン論演習
- 12:10 昼休み
- 13:10 3限: 道具デザイン演習
- 16:30 5限: 一般構造
- 18:00 課外活動

1限



コンピュータを使用したデザインリテラシーについて学びます。

3限



日常生活で使用される道具をテーマに新しいデザイン提案を行います。

5限



主に住宅設計の構造技術や計画を学びます。

課外



さまざまな部活動や地域活動に参加します。

CAMPUS LIFE ONE DAY 県大生の一日



道具デザイン演習
日常で使われる道具に着目して、それぞれのデザイン開発手法を実践的に学んでいます。



服飾デザイン演習
デザイン画の表現手法や、ボディ着装、縫製技術を学んでいます。



地域連携活動
デザイン演習の授業課題として、滋賀県長浜市で開催された、「えんとつ町のプペル・光る絵本展」の会場計画設計を担当しました。

住環境設計演習
実際の空間生成体験から、住空間の設計やデザイン手法をより深く学んでいます。

生活造形基礎演習
デザインや造形表現の基礎を学んでいます。



LD賞トロフィー

LD賞 (リビングデザイン賞)
毎年、優秀な卒業研究に対して賞を授与しています。



◎進路状況 (2014~2016年度卒業生)

◆就職先

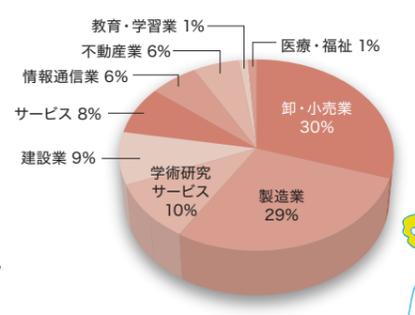
- 綾羽(株)
- 株岩田製作所
- 株オリバー
- 株オンリー
- 株葉匠兵衛
- システム(株)
- 株木の家専門店谷口工務店
- 株グラフィック
- 株クロスカンパニー
- 株ケーエスケー
- 株サンク・アール
- 株昭和工芸
- 株昭和住宅(株)
- 株大和ハウスリフォーム(株)
- 株中広
- 株デザインアーク
- 株ニトリ
- 株パナホーム(株)
- 株ビービーメディア(株)
- 株HIROTA
- 株富士凸版印刷(株)
- 株ブランニュー(株)
- 株ブランジェス(株)
- 株HEADS
- 株ポイント
- 株MARRY MARBLE
- 株レイ・カズン
- 株マナベインテリアハーツ
- 株日展

◆進学先

- 株ファースト
- 株靴工房山本
- 株グラッドキューブ
- 株タイコアーキテクト
- 株パナソニックサイクルテック(株)
- 滋賀県立大学大学院



2014~2016年度卒業生の業種別就職状況



取得可能な資格一覧^{※1}

- 教員免許: 中学校教諭一種(家庭) / 高等学校教諭一種(家庭)
- 学芸員資格
- 二級建築士受験資格^{※2}
- 木造建築士受験資格^{※2}
- 社会福祉士任用資格

OB & OG Message



2014年度卒業
勤務先: 株式会社木の家専門店 谷口工務店
福井 翔也さん
弊社は、主に滋賀県を中心とした関西エリアにおいて、木造住宅の設計や施工・建築工事などを行う工務店です。お客様との距離が近いことが特徴で、設計士が直接お客様から話を伺い、社員の大工が施工を行っています。現在私は大工として働いており、現場での作業はもちろん、工程表の作成や工事業者の手配、材料の発注、見積書の作成など様々な業務を担当しています。入社すぐの頃は施工図の理解に時間がかかり、先輩に確認する毎日でしたが、徐々に自分で動ける範囲が増え、工事中や引渡しの際にお客様に「ありがとう」と言っていたいただけることに、とてもやりがいを感じています。住宅に関わる仕事に就きたいと考え、大学では空間デザインが学べる研究室に入りました。また、「木匠塾」の活動にも参加しており、断面図などの図面を描いたり大工道具を使用したりしていたことが仕事に役立っています。将来は設計もできる大工として、設計から施工まですべて自分ができるようになりたいと考えています。図面だけでは見えないことなど、現場で学んでいることを活かした設計をしていきたいです。
(2017年1月現在)